

創刊のご挨拶

この度、当社はリンカル通信を発行する運びとなりました。
この通信ではリンカルに関する情報を主に発信して参ります。
何卒よろしくお願い致します。

新商品「リンカル丹」

～リンカル補給と悪臭対策～

A 飼料

いろいろやるより、これひとつ

リンカル丹



～tan～

近郊化が進み臭いが気になる方へ

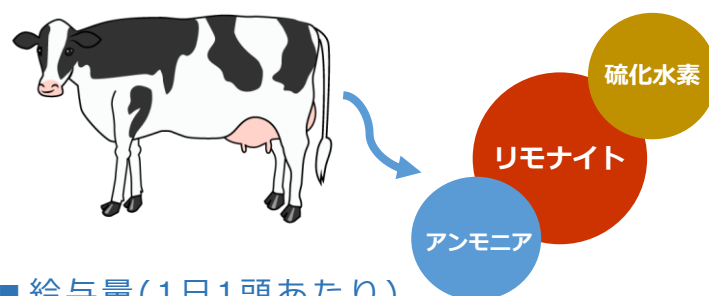
(荷姿：20kg袋 ペレット)

こちらはリン/カルシウム/マグネシウムのペレットに、阿蘇リモナイト（乾燥黄土）を配合したA飼料になります。

■主成分（製品1kgあたり）

P	Ca	Mg	リモナイト
50g	240g	25g	200g

■阿蘇リモナイト（乾燥黄土）とは
熊本県の阿蘇で採掘される鉱物です。
硫化水素とアンモニアを腸の中で
キャッチして糞の臭いを低減します。



■給与量（1日1頭あたり）

泌乳牛 100～300g
繁殖牛 100～200g
育成牛 30～50g
肥育牛 100～200g
※200g以上/日/頭を推奨致します。

■農家さんのお声をいただきました。

- ・糞の締まりが良くなりました！
- ・糞の臭いが低減しました！
- ・嗜好性が良いです！





阿蘇カルデラ



リモナイト採掘現場 航空写真

生命の土 阿蘇リモナイト

阿蘇火山は三十万年前に噴火しました。その後、十五万年前、一万年、九万年前と大噴火を経験しました。これらの噴火により、阿蘇山の火口には大きな火口湖が作られました。この火口湖には、噴火により地中から排出されたマグマに含まれるミネラル成分が多量に流入し、加えて、植物などの有機物も火口湖に蓄積され、それらは水中で分離分解されました。この中で、溶出した鉄分を多く含む堆積物が、現在のリモナイト鉱として、阿蘇狩尾一帯に分布しています。その後、火口湖は干上がり、現在の姿になりました。

この堆積物は「阿蘇の黄土(リモナイト)」として知られるようになります。酪農家からは、「牛の下痢止め」として重宝がられ、また鉄分含有量が多いため、北九州の八幡製鉄所に送られ、鉄鉱石の代わりに使われたこともありました。



川野田化学の 真実

普段何気なく使っている「リンカル」
これは**小野田化学の商標**です。

↓実際に登録されている文字

リンカル



「え！知らなかった！」

1964年に登録されてから57年間、
リンカル製品を製造し続けています。



担当のひとりごと



早いもので、今年の節分も既に終わりましたが
今年もよろしくお願い致します。
さて、今年は畜産業界に関係深い丑年ですね。
「丑」は中国で生まれた漢字です。
後にこの漢字を覚えやすくするために「牛」の
意味が与えられたそうです。
昔、牛は農業を地道に手伝ってくれたことから、
丑年は「発展の前振り(芽がでる年)」
といわれるそうです。
今年は更なる発展に向かっていけると信じて！
皆様、お体を大切に！ 九州地区担当:大峰



Youtubeに
動画をアップ
しています



固形塩

舐めようよ



今月の一句

